

▶▶▶ 南小国町

重点
プロジェクト雇用を守り、増やし、創り出すとともに、
次世代を担う人材を育て活かす

分類 人材育成・確保

総事業費 500,000千円 寄附目標額 —

計画期間 地域再生計画の認定の日…2020年4月1日～2030年3月31日

数値目標 ●「法人町民税均等割の納税義務者数」及び「個人町民税の納税義務者で事業収入が年間120万円以上の者の数」の合計
..... 550社

挑戦の種火の伝播

私たちの使命は、「上質な里山」を次の世代へと繋ぐことです。そのためには現在の生業を守りつつ、町内外の人たちとの連携と協働によって新たな価値を創造していくこと。脈々と受け継がれてきた伝統文化・芸能の灯を、絶やすことなく紡いでいくこと。また、町の宝である次世代を担う子供たちの力を、地域で育むことといった「人材の育成」に注力します。どんなに小さな町であろうとも、人口が減少しようとも、そこに住む人々が輝いていれば、町も輝きを放つのだと思います。具体的には、まちづくり公社SMO南小国と連携しながら、町内外の起業や事業承継希望者の掘りおこし、事業計画の磨きあげ、関係者とのマッチング等を行い、各産業の更なる活性化および新規事業の創出を行います。また、一度失ったら取り戻すことのできない、伝統文化・芸能の次世代継承のための支援。教育関係では、町インターン事業や農泊体験といった郷土愛を育むプログラムの実施、プレゼンテーションを通じたコミュニケーション能力の向上などに努めます。また、先人たちが築いてきた里山の美しい景観を保つため、これらの破壊につながる行為の予防・規制をおこなうとともに、保護や維持の観点から、野焼きの負担軽減のための対策や町民主体による「日本で最も美しい村」づくりに資する活動を支援します。

〈SDGs〉関連するゴール



未来づくり起業塾の開催風景

重点
プロジェクト誰一人取り残されず、
安心して暮らし続けられる町をつくる

分類 まちづくり

総事業費 500,000千円 寄附目標額 —

計画期間 地域再生計画の認定の日…2020年4月1日～2030年3月31日

数値目標 ●共有ビジョン到達度アンケート結果(毎年度実施)における共有ビジョン「ら」・「さ」に関する項目の10年後の将来像に対する到達度評価
..... (5段階)の平均値が4以上

笑顔が溢れる里山

まちづくりの原点は「人材」であり、その「人材」が「幸せ」を感じることで、また新たな活力が生まれます。一言で「幸せ」といって、それは人それぞれの価値観があり多様ですが、私たちはまず「不安」を最小化していくことに注力します。例えば、交通弱者や買い物弱者への支援。医療・介護等の連携による包括的ケアの推進。住民を支える道路や水道などの公共インフラの整備。近年の大規模自然災害に対する、地域防災・減災力の強化および再生可能エネルギーの普及によるエネルギーの地産地消の推進などです。なかでも交通弱者への対策としては、地元事業者と連携し可能な限りニーズに対応し利便性を高めることで、高齢者等の免許証自主返納へとつなげ、交通事故被害者を出さない取り組みを進めます。買い物弱者への対策としては、現在まちづくり公社であるSMO南小国が移動販売を担っておりますが、ニーズの多様化などから、車両の大型化や民間事業者への委託も検討していきます。包括的ケアの推進に関しては、医療機関や社会福祉協議会など関係団体との連携を密にし、IoT技術等を導入しながら、健康意識の醸成に努めます。エネルギーの地産地消の推進に関しては、本町が有する資源(木質バイオマス、小水力、太陽光等)の可能性を精査しながら利活用を進め、自然災害や原油価格の高騰などの外的要因に左右されないエネルギー政策を推進します。

〈SDGs〉関連するゴール



きよら温泉館の木質バイオマスボイラー